

## グループホームいこいの森

### 自己評価・運営推進会議を活用した評価結果および目標達成計画

開催場所：高知市旭町2丁目38-5

開催日時：令和5年6月27日（火曜日）午後2時～午後3時

出席委員：会社の代表【代表取締役（森 裕）】、施設の代表【統括管理者（武田 通代）】、ご家族代表、地域の代表【地域社会福祉法人職員】  
服薬管理者【アトム薬局（薬剤師）】、行政の代表【高知市地域包括支援センター 旭街地域包括支援センター職員】 計 5名

欠席委員：なし

目標達成計画作成日：令和5年7月12日

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本理念はできており、日々のケアで実践に向け取り組んでいる。月一回スタッフ会の中で、理念を確認し共有をしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	前回の運営推進会議外部評価（2022年6月）から年末頃迄は未だ高知市でも多くの新型コロナウイルス感染の報告があり地域との交流を持てなかった。	確かに2022年末迄、新型コロナウイルスの感染が高知市で報告されていたため地域との繋がりが持てるような交流ができていないことは仕方ない旨の意見。5類への分類と共に今後は交流が持てることを期待する。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議も事業所での開催については、コロナ禍の為、中止を余儀なくされ、その場合はスタッフでの開催を行い、内容についてはWEBサイトで閲覧できるようにしている。	上記理由と同様で運営推進会議も事業所での開催を見合わせることは仕方ない旨の意見。WEBサイトでいつでも誰でも閲覧できることは良い取り組みではないか		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議には地域包括職員の方をお招きし協議に参加して頂いている。コロナ禍であったためあまり協力関係を築くような取り組みができなかったが、WEBサイト（Ayaamu 地域介護システム）等を積極的に利用して情報を得ていきたい。	上記同様にて運営推進会議に包括職員が出席できていないことは仕方ない旨。行政が展開するWEBサービスにより情報を共有できる事でコロナ禍でも居力関係が築けるよう期待する。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	原則として身体拘束を行わないケアを全職員が取り組んでいる。概ね2ヶ月に一度の運営推進会議においても委員会を開催しカンファレンスや日々の申し送りのなかで、ケアの確認、振り返りを行っている。安全面に配慮し、身体拘束をしないケアをしている。研修会等も積極的に参加し、ホーム内で		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本来は3ヶ月に1回の開催で良いところを2ヶ月間に一度の割合で開催もされいることからほぼできているとの評価が妥当。

				も委員を決めて研修をしている。 年1回全体会で研修している。			
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者虐待についても身体拘束廃止と同様に年1回の研修を行いその一歩手前である「不適切なケア」を理解し防止することを基本としている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年一回の開催と身体拘束廃止の委員会の中でも高齢者虐待に付いて話し合いが持てている事等からほぼできているとの評価が妥当
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前に成年後見制度を利用していた入居者様がおられたので、制度について理解がある。必要であれば活用できる支援体制を取る。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時は代表取締役・管理者・が同席し、契約書および需要事項説明書に沿って説明をしている。その場で不安や疑問を尋ね、応えている。介護報酬改定があれば、その都度説明をして、理解、納得を頂いている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関前にご意見箱を設置して意見要望を取り入れやすいよう努めている。職員や外部者へ発信のあった意見要望等を外部に表せる機会はできていない。WEBサイトを通じて今後発信していく。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後は施設でご家族が交流できる意見が言える機会を設ける等、感染対策を講じた上で実施されることを期待する。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は運営施設の増加やコロナ対応等により、以前と比較して職員と関わる時間が減少。管理者はカンファレンス時に業務内容の改善方法、職員から意見を聞く機会を設けている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は職員の個々の努力や変化を見極める程、状況を把握できていない。できる限り職員の残業等が無いように管理者に申し伝え		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	前回評価でも同様であるが、代表者と現場職員が意見を聞く、言える機会を設けることを期待。給与水準については職員に還元できる処遇改善手当については最も高い基準を取

				ている。給与水準については各処遇改善加算は全て取得。			ているが、介護報酬の増額等がない限り事業所努力だけでは困難である旨を代表者が述べた。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者はどのような研修が必要かを管理者に一任している為、実際の職員の個々の力量を把握していない。管理者が必要な研修については必ず受けられるようしている。法人内の研修についても十分とはいえないが、個々が希望するのであれば必ず受けられるようになっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上記 11 と同様。代表者から研修を行うことにより知識が向上しより良いケアにつながる事は理解できるが、多くの研修を行うことにより時間外労働等が増加するのであれば、本当に必要な研修を見極める事も大切ではないかとの意見。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他事業所との交流も以前は行っていたが、コロナ禍の為に交流の機会が減少している。以前は西部地区のグループホーム連絡協議会も開催され情報交換も定期的を実施されていたが、職員の参加はなく代表者が参加。その内容を管理者に伝達することで、サービスの質の向上が図れたことはある。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一緒に同じ空間、同じ時間を過ごす仲間として信頼関係が出来ており、お互いの役割を理解しながら支え合っている。人生の先輩として学ぶことが沢山あり、敬う気持ちといたわりの気持ちを持ち、お互いに支え合う関係が出来ている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、面会が制限された為、十分にできていない。ZOOM によるリモート面談を行い関係が保たれるような機会を設けているが、一部の IT リテラシの高い方みの利用となっており、全体的な波及とまでは至っていない。	コロナ禍による弊害により面会が行えない等により、あまりできていないという評価が妥当。ZOOM の利用が限定的であるのは仕方ないことではないかとの意見。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のケアでゆっくり話を聞き、個々の思いや意向を受け止め把握している。困難な場合は、日々の様子や表情から察し、家族の情報で本人本位に支援している。常に職員間で話し合い共有している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人・家族からは、日々の関りの中で思いや意見を聞いている。また LIFE による ADL や認知症症状の把握により課題を抽出し WEB を通じて厚労省に報告。フィードバックされた統計データ等を介護計画に活用している。	LIFE の仕組みの説明。実際の介護計画の閲覧。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護支援専門員の資格を持った計画作成担当者が 3 名おり定期的な ADL 等のアセスメント等ができています。L
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別に日々の暮らしやケアの実践、気づきを記入している。職員間で情報を共有し日々のケアや介護計画の見直しに役立てている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	記録は充実している。記録を振り返り問題点を介護計画に再度落とし込むなど十分にできているという評価。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	買い物を中心に入居者様の個々のニーズを満たすよう努めている。またご家族の希望により医療のデイサービスに通われる利用者様がおられる等、個々のニーズに対応している。	医療のデイサービスであるが、医師の意見により通われている利用者がおられる。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為に期間前半はあまり外出支援等が行えなかったが、近隣公園への散歩やスーパーへの買物等、以前行っていた普段の生活を徐々にではあるが、取り戻している。	コロナ禍のため十分に行えていない。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に、かかりつけ医の希望を聞きご本人、ご家族の希望するかかりつけ医を受診している。職員が家族と共に同行し、ホームでの様子を伝えている。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時は1ヶ月間しか猶予期間がない契約になっており、十分な治療期間を設けているとはいえないが、介護保険制度において入院時の保障のような制度はなく、健全な事業運営を考えるとやむを得ないとする。入院時は職員が同行し本人の支援方法に関する情報を提供。病院相談員から、回復状況等の情報を頂き、退院に向けたカンファレンスに参加し、早期退院ができるようしている。	/	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院期間の設定の事由は理解できる。入退院時のホローアップは適切であると考えられる。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化・終末期に向けた方針は、重度化対応指針によりご家族および職員全員に周知している。指針はWEBサイトでも閲覧可能である。本人家族の意向のもとに、協力医療機関や訪問看護ステーションから支援を受け、重度化・終末期のチーム支援ができる体制を構築している。	/	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	WEBで医療連携指針を閲覧できることは評価できるが、早い段階から本人・家族と話し合いが持たれていない。契約時の説明は指針がある説明であることから、あまりできていないという評価となった。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	緊急時対応マニュアルがあり、全職員が理解している。AEDを玄関前に設置しその使用方法についてレクチャーを受けた。但し定期的な訓練は行っていない為、今後は定期的訓練を実施する。	/	/	/
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	火災訓練は、消防署の指導を受け避難・消火器使用方法・通報方法等の訓練を年2回実施している。耐震構造の建物であり、地震・水害時は外に出ず建物内避難とし、火災時の避難方法を確認し話し合っている。また交番と消防分団に隣接しており立地条件としては災害時に協力を得られやすい。夜間に関しては会社寮が近接。および代表が近隣に居住。	消防訓練の報告。会社寮の立地場所の説明。水害時は1階に浸水リスクがあるが、グループホームへの浸水リスクはないことの説明。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	訓練等が適切になされている。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人を傷つけない声かけや、人格を尊重した接遇で対応している。特に排泄関係のケアは、言葉使いに注意しプライバシーに配慮した支援をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者からの報告によりプライバシーに配慮されたケアがほぼなされているとの評価。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの状態や持てる力に合わせ、食事・飲み物・入浴・外出等、日常生活の中で本人が決める事ができるよう支援している。思いや希望を伝えやすい雰囲気作りに配慮している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一週間のメニューはあるが、入居者の希望で変更もある。食材の買い物と一緒にいき、食事作りや食器洗いを手伝ってもらっている。職員も同じテーブルを囲み、楽しく食事をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が入居者と同様の食事を摂っており、一緒に食べることで職員と入居者が一つになって暮らしを送っている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養1500カロリー水分1300mlは、確保するよう栄養バランスを考えた食事作りをしている。個々の状態を把握し、体調・状態に合わせて工夫し、栄養や水分の確保を支援している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアの必要性を認識しており、毎食後個々の状態に合わせたケアをしている。歯科受診・口腔内チェック、夜間ポリデント使用等清潔保持に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症の進行と口腔ケアの関連性を理解しており、入居者に対して適切な口腔ケアを行っている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者個々の排泄状態を全職員が把握しており、トイレ排泄が出来るよう支援している。自尊心に配慮した声かけ誘導・パッド交換・下着回収をしている。一日でも長く、自立した排泄が保てるよう支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者のプライバシーを鑑みた排泄ケアが実践されている。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望を確認し、希望に沿った入浴になるように努めている。拒否時は、タイミングを計り、馴染みの職員が対応している。夜間入浴はして無いが、午後ゆったりと、時間をかけ浴槽に浸かり本人ペースで入浴を楽しんでいる。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの状態を把握し、日中の活動量を増やし、生活リズムを整え夜間の安眠確保が出来るよう支援している。日中はその日の個々の状態に合わせて休息して頂いている。夜間不眠の方は専門医を受診している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の介護記録ファイルに投薬説明書を入れており、目的や副作用の確認をしている。新しく処方があれば、情報ノートに記入し情報を共有している。全職員が症状変化の確認をしている。服薬時は1人ではなく職員同士で名前、日付を確認している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬管理は調剤薬局の個別包装の支援もあり、また薬剤師による薬剤の情報等のレクチャーにより個々の薬の役割等の理解を深めておりダブルチェックによる誤薬防止も実践されている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の得意分野を把握。全職員が常に感謝の言葉をかけている。誕生日会等の行事には、豪華なご馳走で楽しんで頂き気分転換の支援をしている。	季節のイベントの実施位、個別の祝い事の実施の説明。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、外出支援も中止。日常的な散歩や買物同行も十分に行えていないが、感染状況が一時的に落ち着いているときは季節な花などを車中から見学した。	コロナ禍により外出自粛の為、十分な外出支援が行えない旨の説明。感染状況を鑑みながら再開予定。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、買物同行も自粛している為、支援できていない。訪問スーパーも隣接する施設には来ているが、グループホームでは			



				活用できていない。今後は訪問を検討。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	遠方の家族から贈り物が届いた時は、お礼の電話をかけるようアドバイスしている。不定期であるが、ご家族に出すお便りの中に、時々本人の書いた絵・手紙・写真を入れている。本人の希望を聞き、電話や手紙の支援に努めている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共用空間は、台所・食堂・ソファーと一体化しており、食事作りの音・匂い等生活感が溢れている。季節の花をテーブル等に活け、季節感を取り入れる工夫をしている。職員間の私語をつつしみ不快にならないよう気をつけている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	建物内部は適切にレイアウトされており、生活感が感じられる。特にキッチンはホール全体が見渡せるレイアウトとなっており事故等の突発的な物事に対応できやすいと感じる。
<b>IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向に沿った支援ができるように職員全体で把握。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にケアマネジャーやご家族、その他の関係者から得た情報を基にケアプランを作成。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタルチェック、食事および水分量を確認リストに記載。排泄状態の把握を行い情報を申し送り、情報の共有を図っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の利用者の情報が共有されており、ほぼできているとの評価を行った。

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一日の基本的なタイムスケジュールはあるが、お一人お一人のペースを大切にし尊重をもって自分の思いで生活ができるよう支援。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に以前にご本人様が大切にしていた物や日常的に使用していた物を自由に持ってきて下さるようお伝えしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時にも馴染みの物を持って来ていただいて構わない旨の説明をお行っており、十分にできているという評価。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	散歩に行きたい等の訴えがある時は職員と一緒に近隣を散歩している。催し事についてはコロナ禍の為一部制限している。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	状況に応じて洗濯干しや洗濯物のたたみ、調理の下ごしらえ、レクリエーションへの参加をここにに応じて支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご入居者様同士の会話、職員との会話が行える場を設け、得意な活動を把握して笑顔で気持ちよく生き生きとした生活が行えるよう支援している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者はホールでおられる際にも笑顔がみられ、生き生きとした様子で過ごされている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	以前は近隣の高齢者施設のイベントに参加したりし交流を行っていたが、コロナ禍の為、ほとんど行っていない。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	グループホームに居ることで安全安心の生活が送れている。ご入居者様同士、職員も家族のような関係が構築できており、より良い日々を送ることができる。	コロナ禍ということもあり、外出支援等は十分に行っていないが、その分、お食事等を工夫したり、職員と入居者が一緒に暮らしている様なグループホーム運営を心がけている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	外出支援等が感染症により樹分にできていないという評価が多いが、今後は5類へ分類される中、外出支援等も十分に行っていることと思う。入居者は笑顔が見られ職員との関係性も良好であるように見受けられる。安全安心に暮らされていると評価した。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本理念はできており、日々のケアで実践に向け取り組んでいる。月一回スタッフ会の中で、理念を確認し共有をしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	前回の運営推進会議外部評価（2022年6月）から年末頃迄は未だ高知市でも多くの新型コロナウイルス感染の報告があり地域との交流を持てなかった。	確かに2022年末迄、新型コロナウイルスの感染が高知市で報告されていたため地域との繋がりが持てるような交流ができていないことは仕方ない旨の意見。5類への分類と共に今後は交流が持てることを期待する。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議も事業所での開催については、コロナ禍の為、中止を余儀なくされ、その場合はスタッフでの開催を行い、内容についてはWEBサイトで閲覧できるようにしている。	上記理由と同様で運営推進会議も事業所での開催を見合わせることは仕方ない旨の意見。WEBサイトでいつでも誰でも閲覧できることは良い取り組みではないか		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議には地域包括職員の方をお招きし協議に参加して頂いている。コロナ禍であったためあまり協力関係を築くような取り組みができなかったが、WEBサイト（Ayaamu 地域介護システム）等を積極的に利用して情報を得ていきたい。	上記同様にて運営推進会議に包括職員が出席できていないことは仕方ない旨。行政が展開するWEBサービスにより情報を共有できる事でコロナ禍でも居力関係が築けるよう期待する。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	原則として身体拘束を行わないケアを全職員が取り組んでいる。概ね2ヶ月に一度の運営推進会議においても委員会を開催しカンファレンスや日々の申し送りのなかで、ケアの確認、振り返りを行っている。安全面に配慮し、身体拘束をしないケアをしている。研修会等も積極的に参加し、ホーム内で		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本来は3ヶ月に1回の開催で良いところを2ヶ月間に一度の割合で開催もされいることからほぼできているとの評価が妥当。

				も委員を決めて研修をしている。 年1回全体会で研修している。			
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者虐待についても身体拘束廃止と同様に年1回の研修を行いその一歩手前である「不適切なケア」を理解し防止することを基本としている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年一回の開催と身体拘束廃止の委員会の中でも高齢者虐待に付いて話し合いが持てている事等からほぼできているとの評価が妥当
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前に成年後見制度を利用していた入居者様がおられたので、制度について理解がある。必要であれば活用できる支援体制を取る。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時は代表取締役・管理者・が同席し、契約書および需要事項説明書に沿って説明をしている。その場で不安や疑問を尋ね、応えている。介護報酬改定があれば、その都度説明をして、理解、納得を頂いている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関前にご意見箱を設置して意見要望を取り入れやすいよう努めている。職員や外部者へ発信のあった意見要望等を外部に表せる機会はできていない。WEBサイトを通じて今後発信していく。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後は施設でご家族が交流できる意見が言える機会を設ける等、感染対策を講じた上で実施されることを期待する。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は運営施設の増加やコロナ対応等により、以前と比較して職員と関わる時間が減少。管理者はカンファレンス時に業務内容の改善方法、職員から意見を聞く機会を設けている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は職員の個々の努力や変化を見極める程、状況を把握できていない。できる限り職員の残業等が無いように管理者に申し伝え		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	前回評価でも同様であるが、代表者と現場職員が意見を聞く、言える機会を設けることを期待。給与水準については職員に還元できる処遇改善手当については最も高い基準を取

				ている。給与水準については各処遇改善加算は全て取得。			ているが、介護報酬の増額等がない限り事業所努力だけでは困難である旨を代表者が述べた。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者はどのような研修が必要かを管理者に一任している為、実際の職員の個々の力量を把握していない。管理者が必要な研修については必ず受けられるようしている。法人内の研修についても十分とはいえないが、個々が希望するのであれば必ず受けられるようになっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上記 11 と同様。代表者から研修を行うことにより知識が向上しより良いケアにつながる事は理解できるが、多くの研修を行うことにより時間外労働等が増加するのであれば、本当に必要な研修を見極める事も大切ではないかとの意見。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他事業所との交流も以前は行っていたが、コロナ禍の為に交流の機会が減少している。以前は西部地区のグループホーム連絡協議会も開催され情報交換も定期的を実施されていたが、職員の参加はなく代表者が参加。その内容を管理者に伝達することで、サービスの質の向上が図れたことはある。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一緒に同じ空間、同じ時間を過ごす仲間として信頼関係が出来ており、お互いの役割を理解しながら支え合っている。人生の先輩として学ぶことが沢山あり、敬う気持ちといたわりの気持ちを持ち、お互いに支え合う関係が出来ている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、面会が制限された為、十分にできていない。ZOOM によるリモート面談を行い関係が保たれるような機会を設けているが、一部の IT リテラシの高い方みの利用となっており、全体的な波及とまでは至っていない。	コロナ禍による弊害により面会が行えない等により、あまりできていないという評価が妥当。ZOOM の利用が限定的であるのは仕方ないことではないかとの意見。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のケアでゆっくり話を聞き、個々の思いや意向を受け止め把握している。困難な場合は、日々の様子や表情から察し、家族の情報で本人本位に支援している。常に職員間で話し合い共有している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人・家族からは、日々の関りの中で思いや意見を聞いている。また LIFE による ADL や認知症症状の把握により課題を抽出し WEB を通じて厚労省に報告。フィードバックされた統計データ等を介護計画に活用している。	LIFE の仕組みの説明。実際の介護計画の閲覧。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護支援専門員の資格を持った計画作成担当者が 3 名おり定期的な ADL 等のアセスメント等ができています。L
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別に日々の暮らしやケアの実践、気づきを記入している。職員間で情報を共有し日々のケアや介護計画の見直しに役立てている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	記録は充実している。記録を振り返り問題点を介護計画に再度落とし込むなど十分にできているという評価。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	買い物を中心に入居者様の個々のニーズを満たすよう努めている。またご家族の希望により医療のデイサービスに通われる利用者様がおられる等、個々のニーズに対応している。	医療のデイサービスであるが、医師の意見により通われている利用者がおられる。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為に期間前半はあまり外出支援等が行えなかったが、近隣公園への散歩やスーパーへの買物等、以前行っていた普段の生活を徐々にではあるが、取り戻している。	コロナ禍のため十分に行えていない。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に、かかりつけ医の希望を聞きご本人、ご家族の希望するかかりつけ医を受診している。職員が家族と共に同行し、ホームでの様子を伝えている。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時は1ヶ月間しか猶予期間がない契約になっており、十分な治療期間を設けているとはいえないが、介護保険制度において入院時の保障のような制度はなく、健全な事業運営を考えるとやむを得ないとする。入院時は職員が同行し本人の支援方法に関する情報を提供。病院相談員から、回復状況等の情報を頂き、退院に向けたカンファレンスに参加し、早期退院ができるようしている。	/	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院期間の設定の事由は理解できる。入退院時のホローアップは適切であると考えられる。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化・終末期に向けた方針は、重度化対応指針によりご家族および職員全員に周知している。指針はWEBサイトでも閲覧可能である。本人家族の意向のもとに、協力医療機関や訪問看護ステーションから支援を受け、重度化・終末期のチーム支援ができる体制を構築している。	/	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	WEBで医療連携指針を閲覧できることは評価できるが、早い段階から本人・家族と話し合いが持たれていない。契約時の説明は指針がある説明であることから、あまりできていないという評価となった。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	緊急時対応マニュアルがあり、全職員が理解している。AEDを玄関前に設置しその使用方法についてレクチャーを受けた。但し定期的な訓練は行っていない為、今後は定期的訓練を実施する。	/	/	/
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	火災訓練は、消防署の指導を受け避難・消火器使用方法・通報方法等の訓練を年2回実施している。耐震構造の建物であり、地震・水害時は外に出ず建物内避難とし、火災時の避難方法を確認し話し合っている。また交番と消防分団に隣接しており立地条件としては災害時に協力を得られやすい。夜間に関しては会社寮が近接。および代表が近隣に居住。	消防訓練の報告。会社寮の立地場所の説明。水害時は1階に浸水リスクがあるが、グループホームへの浸水リスクはないことの説明。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	訓練等が適切になされている。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人を傷つけない声かけや、人格を尊重した接遇で対応している。特に排泄関係のケアは、言葉使いに注意しプライバシーに配慮した支援をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者からの報告によりプライバシーに配慮されたケアがほぼなされているとの評価。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの状態や持てる力に合わせ、食事・飲み物・入浴・外出等、日常生活の中で本人が決める事ができるよう支援している。思いや希望を伝えやすい雰囲気作りに配慮している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一週間のメニューはあるが、入居者の希望で変更もある。食材の買い物と一緒にいき、食事作りや食器洗いを手伝ってもらっている。職員も同じテーブルを囲み、楽しく食事をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が入居者と同様の食事を摂っており、一緒に食べることで職員と入居者が一つになって暮らしを送っている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養1500カロリー水分1300mlは、確保するよう栄養バランスを考えた食事作りをしている。個々の状態を把握し、体調・状態に合わせて工夫し、栄養や水分の確保を支援している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアの必要性を認識しており、毎食後個々の状態に合わせたケアをしている。歯科受診・口腔内チェック、夜間ポリデント使用等清潔保持に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症の進行と口腔ケアの関連性を理解しており、入居者に対して適切な口腔ケアを行っている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者個々の排泄状態を全職員が把握しており、トイレ排泄が出来るよう支援している。自尊心に配慮した声かけ誘導・パッド交換・下着回収をしている。一日でも長く、自立した排泄が保てるよう支援している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者のプライバシーを鑑みた排泄ケアが実践されている。



32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望を確認し、希望に沿った入浴になるように努めている。拒否時は、タイミングを計り、馴染みの職員が対応している。夜間入浴はして無いが、午後ゆったりと、時間をかけ浴槽に浸かり本人ペースで入浴を楽しんでいる。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの状態を把握し、日中の活動量を増やし、生活リズムを整え夜間の安眠確保が出来るよう支援している。日中はその日の個々の状態に合わせて休息して頂いている。夜間不眠の方は専門医を受診している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の介護記録ファイルに投薬説明書を入れており、目的や副作用の確認をしている。新しく処方があれば、情報ノートに記入し情報を共有している。全職員が症状変化の確認をしている。服薬時は1人ではなく職員同士で名前、日付を確認している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬管理は調剤薬局の個別包装の支援もあり、また薬剤師による薬剤の情報等のレクチャーにより個々の薬の役割等の理解を深めておりダブルチェックによる誤薬防止も実践されている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の得意分野を把握。全職員が常に感謝の言葉をかけている。誕生日会等の行事には、豪華なご馳走で楽しんで頂き気分転換の支援をしている。	季節のイベントの実施位、個別の祝い事の実施の説明。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、外出支援も中止。日常的な散歩や買物同行も十分に行えていないが、感染状況が一時的に落ち着いているときは季節な花などを車中から見学した。	コロナ禍により外出自粛の為、十分な外出支援が行えない旨の説明。感染状況を鑑みながら再開予定。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、買物同行も自粛している為、支援できていない。訪問スーパーも隣接する施設には来ているが、グループホームでは			

				活用できていない。今後は訪問を検討。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	遠方の家族から贈り物が届いた時は、お礼の電話をかけるようアドバイスしている。不定期であるが、ご家族に出すお便りの中に、時々本人の書いた絵・手紙・写真を入れている。本人の希望を聞き、電話や手紙の支援に努めている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共用空間は、台所・食堂・ソファーと一体化しており、食事作りの音・匂い等生活感が溢れている。季節の花をテーブル等に活け、季節感を取り入れる工夫をしている。職員間の私語をつつしみ不快にならないよう気をつけている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	建物内部は適切にレイアウトされており、生活感が感じられる。特にキッチンはホール全体が見渡せるレイアウトとなっており事故等の突発的な物事に対応できやすいと感じる。
<b>IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向に沿った支援ができるように職員全体で把握。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にケアマネジャーやご家族、その他の関係者から得た情報を基にケアプランを作成。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタルチェック、食事および水分量を確認リストに記載。排泄状態の把握を行い情報を申し送り、情報の共有を図っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の利用者の情報が共有されており、ほぼできているとの評価を行った。

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一日の基本的なタイムスケジュールはあるが、お一人お一人のペースを大切にし尊重をもって自分の思いで生活ができるよう支援。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に以前にご本人様が大切にしていた物や日常的に使用していた物を自由に持ってきて下さるようお伝えしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時にも馴染みの物を持って来ていただいて構わない旨の説明をお行っており、十分にできているという評価。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	散歩に行きたい等の訴えがある時は職員と一緒に近隣を散歩している。催し事についてはコロナ禍の為一部制限している。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	状況に応じて洗濯干しや洗濯物のたたみ、調理の下ごしらえ、レクリエーションへの参加をここにに応じて支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の暮らしの中で得ることができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご入居者様同士の会話、職員との会話が行える場を設け、得意な活動を把握して笑顔で気持ちよく生き生きとした生活が行えるよう支援している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者はホールでおられる際にも笑顔がみられ、生き生きとした様子で過ごされている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	以前は近隣の高齢者施設のイベントに参加したりし交流を行っていたが、コロナ禍の為、ほとんど行っていない。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるできている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	グループホームに居ることで安全安心の生活が送れている。ご入居者様同士、職員も家族のような関係が構築できており、より良い日々を送ることができる。	コロナ禍ということもあり、外出支援等は十分に行っていないが、その分、お食事等を工夫したり、職員と入居者が一緒に暮らしている様なグループホーム運営を心がけている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	外出支援等が感染症により樹分にできていないという評価が多いが、今後は5類へ分類される中、外出支援等も十分に行っていることと思う。入居者は笑顔が見られ職員との関係性も良好であるように見受けられる。安全安心に暮らされていると評価した。

(参考様式4)

事業所名:グループホームいこいの森

## 目標達成計画

作成日: 令和5年7月12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9	現状ではご家族等が気軽に意見が言える機会を設けることができていない。コロナ禍であり面会制限等の時期も多く、施設内でご家族が集まりを持てるイベント等も開催できなかった。また要望等を外部に発信することもできていない。	感染対策を講じた上で施設においてご家族等や外部の方を招き、意見や要望が聞ける機会を設ける。頂いた要望についてはWEBサイト等を通じて外部に発信する。	クリスマス会等によりご家族がホームに訪れるイベントの開催並びにご家族の要望・意見が聞ける機会を設ける。頂いた要望・意見についてはWEBサイトを通じ外部に発信。	6ヶ月
2	15	前項目と同様にコロナ禍とうこともあり、これまで馴染みの関係であった方のご訪問が行えていない。また同様に昔おられた家や街への外出支援も思うように行えていない。	馴染みの関係性であった方が気軽に訪問できるように感染対策を講じた上で催しなどを行っていく。同時に昔住まわれていた家や街に訪れることができるように定期的な外出支援を再開する。	イベントの告知、並びに外出時にご家族や馴染みの関係性のある方に同行してもらい、一緒にいる時間が持てるような外出支援を実施。	6ヶ月
3	37	お預かりしたお金を金銭管理しているが、入居者が使いたいときにお金を使える機会を設けられていない。	訪問スーパーの利用やネット販売等を通じて利用者の希望するものを購入できる会を設ける。	とくし丸の訪問(隣接する特定施設)時に一緒に買物を行う。イオン等が実施しているインターネット通販の利用等	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。